

# 校正用取扱説明書

## チェックマン

### CM-7S



## 富士コントロールズ株式会社



注1) 入力安定するとDZ LEDが点灯しますが、消灯中でもデータは取り込まれます。

注2) 設定中に誤りがある場合は次の様なエラーメッセージが表示されます。

E r r 1 : ゼロ値取り込みのときの入力が $-0.3\text{mV/V}$ 以下です。

E r r 2 : ゼロ値取り込みのときの入力が $+2.0\text{mV/V}$ 以上です。

無負荷時の入力がゼロ調整範囲を超える場合は、センサのブリッジの一边に固定抵抗器を接続して、不平衡分を補正してください。ただしこの抵抗は精度に直接影響しますので温度係数の良いものを使用してください。

下表はセンサの端子間抵抗が $350\Omega$ の場合です。

抵抗を-SIG, -EXC間に入れた場合(極性を反転させるには抵抗を-SIG, +EXT間に入れてください。)

入力換算ひずみ(mV/V)	-0.5	-0.6	-0.8	-1.0	-1.2	-1.4	-1.6	-1.8	-2.0	-2.5
抵抗値(k $\Omega$ )	174	147	110	86.6	73.2	61.9	54.9	48.7	43.6	34.8

E r r 3 : 表示値設定のときの入力または設定がゼロ値取り込みのときと同じまたは小さい。

表示値設定時の入力(入力値の設定)はゼロ値取り込み時の入力(ゼロ値取り込みの設定)より大きくしてください。

E r r 4 : 表示値設定のときの入力または入力値の設定がゲイン調整範囲を超えています。

表示値設定時の入力(入力値の設定)を小さくしてください。

E r r 5 : 表示値設定のときの入力または入力値の設定が最小入力感度以下です。

S P i nの設定を大きくするか、S P A nの設定を小さくしてください。

注3) 設定中に電源を切った場合は、設定されたデータは無効となります。

注4) 本器は4線式センサを使用するようになっていますので、ケーブルを長くすると配線の抵抗により等価校正に誤差が生じます。

注5) エラー表示から抜け出せなくなった場合は、一旦電源を切り再投入してください。設定に入る前の設定値で動作します。